



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 谷川 広美

# 厳しい社会を変革!

## 成功させよう「さようなら原発」

道本部は9月29日、30日の両日、ホテルポルスター札幌で自治労北海道本部第52回定期大会を開き、向こう一年間の運動方針と当面の闘争方針、「さようなら原発1000万人アクション」を圧倒的に成功させ脱原発社会の実現を求める決議などを採択し新役員体制を決定した。2日間で全道から641人(うち女性74人11.5%)が参加した。



特集・道本部第52回定期大会

「当面する取り組みに全体で集中し総力をあげよう」と団結ガンパローで終了した第52回定期大会=9月30日、ホテルポルスター札幌

世の中には、知らされていないことが多いのかもしれない。原発の危険性もさることながら、添加物、農薬など知らず知らずの内に体に入っている物。建造物に使われる体に有害な物質。きりがながい。知る権利はどれもこれもこれもある。

### 朝風

「ブルサマー計画」における「やらせ」問題。高橋知事は関係ないかのようコメント記事が新聞に載った。北電上層部と道の関係。経産省出身の知事が関わっていないはずがない。事故が起きたらどうするのだ。道民の命を守れ。

本大会は、2日目の30日に人事院勧告(人勤記事は8〜9面に掲載)が行われる中、開かれた。政権交代が実現して2年、政治が国民の期待に応えられず混迷を続け「何のための政治闘争だったのか」といった組合員の不満も大きくなってきている。しかし、厳しい社会を変革するために政治闘争は切り離せない。私たちの賃金・労働条件は政治の力で変えられている。こうしたことから、政府・与党に対して政策・制度要求を進めるとともに、自らもそのための運動を強める決意が必要である。

### 組織力・交渉力を強化

2日間で参加者から経過・方針含めて28本の発言があった。この討論を通じて、当面する2011賃金確定闘争、現業公企統一闘争、2012国民春闘へと継続する重要課題に全体で取り組んでいく。特に、国家公務員制度改革関連四法案の早期成立と地公の同時決着。労働協約締結権回復を見据えた単組の組織力・交渉力の強化。組織

### 委員長あいさつ

厳しい情勢の中、献身的に運動を担っていただき心からお礼を申し上げます。東日本大震災は、福島原発事故を引き起こす未曾有の大災害となつた。多額のカンパや現地支援などの取り組みに感謝。自然の猛威の中では、絶対安全はあり得ない。極めて大きなリスクを伴うのか、道・札幌市人事

連合北海道は10月8日、第1回エネルギー・環境政策委員会を、札幌市内で開き、北海道の原子力エネルギー政策の見直しや防災対策について、連合加盟全産別と全地協での議論を開始した。第一部の学習会は、九州大学副学長 吉岡晋三

### 北海道のエネルギー政策議論はじまる

脱工業化、エネルギー高騰により需要は減る。また、原子力の厚い保護などのすべてをやめるべき、電気事業の自由化などにより、脱原発は達成できる」と強調した。第二部の委員会では、原子力発電の安全確保や防災対策、エネルギー政策の見直しにむけた共通認識の拡大を図り、委員会議論を通じ、政策をまとめることとした。



執行委員長・山上 潔

### 2度と福島事故繰り返さない



さようなら原発1000万人アクション

自治労道本部は「さようなら原発1000万人署名」の運動を進めることを目的に、平和運動フォーラムとともに、札幌市地下歩行空間の間で10月4日から4日間の4日間、673筆を集めた。多くの国民に働きかける運動を今後も取り組む。

う原発政策を直ちに見直し、代替エネルギーの開発とともに脱原発を実現させると改めて強く認識している。自らの問題として受け止め復興・再生に引き続き取り組み、さようなら原発1000万人署名運動をしっかりと担っていく。今年秋の秋闘争の特徴は、自律的労使関係制度の先取りとして政府と公務員連絡会との間で3年間平均7.8%の賃金・一時金の削減が合意した中でのたまたかいになる。国公の人員削減の影響を断固遮断し、政府が人勧をどう扱うのか、道・札幌市人事

委員会の報告内容などを見極め、中央本部方針も踏まえて闘争方針を補強していく。公務員制度改革は不透明な状況。道本部として協約締結権の回復と、対等の労使関係を作り上げていくために、単組・総支部の組織力量の強化を進めていく。安心して生活できる平和で公平・公正で、格差や差別や貧困のない、「生まれきて良かった」と言えるあたりまえの社会を未来に残すために、民主党政権は不十分であるが、しっかりと支えていく中で社会の変革を実現しよう。

### JICHIRO スケジュール

10月	
21日(金)	10・21国際反戦デー北海道集会(札幌市)
23日(日)	臨時・非常勤等職員の均等待遇と雇用安定を求める決起集会・中央行動(24日、東京都)
26日(水)	共済道支部事務担当者会議(札幌市)
27日(木)	統一要求書提出日
29日(土)	第3回道本部執行委員会(札幌市)
30日(日)	さようなら原発1000万人アクション「やめるべ、大間原発」! 10・29北海道集会(函館市)
11月	
4日(金)	憲法の理念を実現する第47回護憲大会(～6日、山形市)
2日(水)	道本部2012春闘アンケート学習検討会

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido  
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

### 本号の紙面

- 1～3面 第52回 定期大会特集
- 4～5面 写真・機関紙コンクール  
大会来賓あいさつと退任者
- 6面 事前会議・評議報告
- 7～8面 2011人勤特集
- 9面 「さようなら原発」青年総決起集会  
この人についてみたい①ほか
- 10面 2012年度道本部執行体制

### やめるべ大間原発! 10・29北海道集会

◇10月29(土) 13:00～15:00  
◇函館市千代台公園 (千代台町22-24)  
「あつまろう! 函館に!」

さようなら原発1000万人署名  
150単組・総支部 62,861筆  
(10月17日現在)  
自治労道本部は30万人署名に取り組んでいます



### 方針への発言

信頼できる人間関係を築く。国と異なる制度はあ



高野さん (全道庁労連上川)

臨・非署名は、目標以上9万筆の集約に感謝。

臨・非署名が最重要課題であるとの「仲間意識」を実感。賃金シエアの議論も深める必要があるが根底に信頼できる人間関係が必要。道内労働者4割がワーキングプア。ワーカールール確立のため法制度や法政策に訴える。

### 国の指導



白川さん (苫小牧市職労)

5級係長ワタリでは、新たな病院特例債が出せなくなるという国の指導。住宅手当にも、国や道の指導が強まっている。

町長選の公約である特養民営化の問題では、現場職員へ説明もなく、一方的に表明。当局の説明会では、補助採択が難しいので民設民営化の提案。一般職での配置替えが困難など解雇回避努力を行わない姿勢。職員と利用者を守り、不利益がないよう交渉を続ける。



田村さん (別海町職)

説明なしに民営化提案

交渉力の強化について



青柳さん (津別町職)



今確定は法案通過が不透明ななか、道・政令人勤の影響が想定される。交渉力の弱い単組は、財政を理由に交渉もな

いまま強行されかねない。情報共有と交渉力強化について問

う。現業職の民営化は継続協議だが委託先調査は進行中。組合員の雇用を守る闘いを頑張る。

(再質問)休眠単組への危機感が足りない。道本でオルグに入り単組活動を活性化願う。

原発廃止が急務



菊地さん (室蘭市職労)

各集会で原発廃止への国民の意思が示された。しかし、原子力の利権集団が存在。組織内議員や連合への意見反映が必要と考える。新増設は認めない。老朽原発から廃止」という道本方針では40年かかる。すぐに



廃炉、期限を決めるなど方針の根拠説明を求める。現給保障の廃止



三浦さん (全道庁労連本部)

13年におよぶ独自削減は、何としても停止させる。人勤の現給保障措置廃止は大きな問題。自治労に結集し、交付税確保と地財を圧迫する施策は許さない取り組みを強化。独法化による予算毎年効率化1%は法人運営を歪めている。中央への意見反映を。

原発不十分な防災対策 原発事故は、対岸の火事ではない。泊原発の防

### 中央情勢報告

石上中央執行委員

連合本部大会の会長あいさつでエネルギー政策転換に触れる予定。脱原



発への大きな政策転換がはかられる。今後、各産別政策担当者で具体的な方向を決めてく。連合の方針転換が目的ではなく、取り組みを強め、国の政策を転換し原発がなくなっても

業務量の積み上げ必要 本組織が決める事は望ましくない。オルグ団結成も職場が厳しい状況。機能強化へ議論の追求を願う。



河田さん (後志地方本部)

災害対策に、具体的な方向性や対応が不透明なまま。道に対し、避難経路拡充の必要性、医療体制整備、人員不足を提言。道民の財産を守るべき知事が3号機運転を容認するのは資質を疑う。住民の生活を守る観点で取り組む。

被曝の危険性



岩田さん (全道庁労連後志)

高橋道政のもと、防災担当も人員削減され、災害が長期化した際、バックアップが必要。福島では防護服や線量計なしで働いている。泊原発で事故が起これば管内職員も同じであり、科学的見知での情報収集など単組・総支部では困難。道本部へ指導協力を願う。

原発署名では目標の設定と達成を追求し地本で展開。署名の意義を組合員にしっかりと浸透させ地域を巻き込んだ丁寧な取り組みを行う必要がある。全組合員で運動をやり続けることこそ組織の強さであり、皆で決めたことを皆でやる基本を忘れず組織強化をはかる。

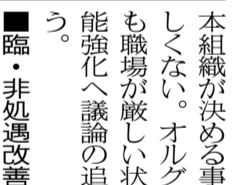
### 第11次長計について



橋本さん (えりも町職)

統一選は単組総体のたかいたならず大きな危機感。職能三評議論では、組織強化策として自治労全体で乗り切るため、議論して本部へ意見反映を願う。

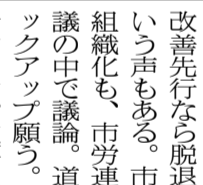
結成40周年を迎えた。臨・非の処遇改善が進まなく苦慮。非常勤の処遇改善先行なら脱退するという声もある。市社協の組織化も、市労連四役会議の中で議論。道本のバックアップ願う。自治研活動では、重要な政策提言など、先進的な運動に学びながら進める。



木下さん (十勝地方本部)

公契約条例を制定 札幌市人事委員会は10月26日に勧告予定。全道に影響を与える認識。公共サービス労組を組織し、賃金・労働条件改善に尽力。公契約条例制定では、契約範囲や賃金決定事項など重要な項目。他都市部の事例など参考に、党・地区連合と連携し取り組む。

単純労務を超える職場



山口さん (釧路市役所ユニオン)

現業の合理化の問題では、労使であり方検討委

を。子育てに株式会社への参入は当初からの懸念事項。環境整備のため、本部と連携。自治労共済で可処分所得の確保を。公契約条例制定は全道でも大変重要。組織強化は、単組・地本任せではなく、道本部も積極的に取り組む。(藤盛副委員長)

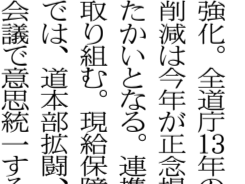
### 組合員の意識変化



田中さん (足寄町職労)

原発署名では学習会を開き住民と話をしている取り組みを展開。署名は簡単ではないが、取り組む中で組合員はひとつでも多く取ろうと意識が変化。組合員全体で取り組みが大事。取り組みを機にさらなる運動展開・組織固めを。

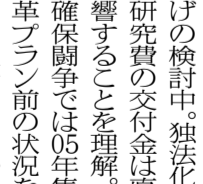
強化。全道庁13年の独自削減は今年が正念場のたかいたとなる。連携して取り組み。現給保障全廃では、道本部拡固、負担会議で意思統一する。交渉力向上にむけ、18の到達目標で単組はどのような位置か検証を。スキルアップのため学校の見直しする。休眠単組は地本と連携し、指導強化する。自律的労使関係制度にむけ道本部もPPTをたちあげの検討中。独法化では、研究費の交付金は直接影響することを理解。人員確保闘争では05年集中改革プラン前の状況を踏まえ、組合員としっかり議論し、対当局交渉で人員増をはかることが大切。57条問題は大きな山場となる。公権力を行使できる新たな技能労務職をめざす。あり方検討委員会



藤盛副委員長

3評議論では、組織集会以地方組織をつくることと厳しいとの意見。組織をつくるエネルギーを運動をつくるエネルギーに変えて進めることが大事。組織の必要性は変わらない。道本学校は、活動家育成が急務だが、地道な積み重ねで育てられるのも活動家。システムを単組・地本でつくる必要がある。青年部が担っていたことに、基本組織の力を上乗せして取り組み。今後もご意見を頂きたい。

切離せない。分断させられるのではなく不満や不十分さを指摘し、しっかりと支え、社会の変革をめざす。秋期闘争は、人勤を政府がどう扱うか。10月末の道・札幌市人事委員会勧告も注視する。要求・交渉・妥結・協約締結の闘争サイクルを確立し、道本部も一緒に力量向上に努力。原発推進派を崩すのは簡単なことではない。署名の成功が必要。先進的な地域の取り組みに学び、力を合わせ



山土委員長

討議のまとめ

先進的の地域に学ぼう



# 第27回 全日本自治体職員等 女子バレーボール選手権全国優勝大会

## 札幌市職連・帯広市労連ともに奮闘



惜しくも3位になった札幌市職連



帯広市労連

10月1日から3日、京都市・ハンナリースアリーナで開催された第27回全日本自治体職員等女子バレーボール選手権全国優勝大会で、本年度全道大会で優勝した帯広市労連、昨年度優勝の札幌市労連が奮闘した。

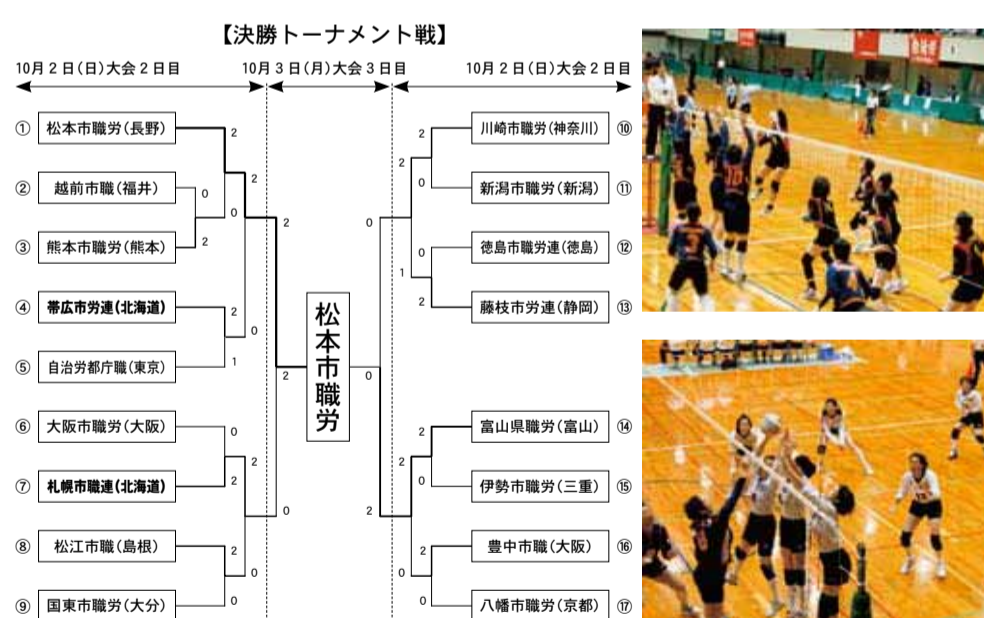
全国から22チームが出場し、前回大会優勝チームと開戦代表八幡市職労を除く20チームが5組に分かれて予選グループ戦を行い、北海道代表の札幌市職連と帯広市労連がともに予選を勝ち上がった。

決勝トーナメントでは、両チームとも1回戦を勝ち進んだ。

第1セットは札幌市職連がポイントを取って好スタートをきり、序盤戦は一進一退の攻防となった。しかし、松本市職労は札幌市職連を相手に雪辱を期して

### 両者優勝チーム松本市職労に敗れる

の攻撃をことごとく抑えながら速攻を中心とした攻撃で徐々に点差を広げる。札幌市職連は中盤4連続ポインント上げて追い上げるも前半の点差が響いて、松本市職労が第1セットを先取。第2セットは、第1セット以上の接戦、松本市職労の速攻に対して、札幌市職連は粘り強い守りと左右からの攻撃で流れをつかむと、相手のミスもあり試合中盤に同点に追い付き、試合終盤は互いに一点ずつを取り合いながらデュースに持ち込み、20対21と逆転するも、松本市職労が最後に3ポイントを取って札幌市職連を振り切った。



# 第44回 写真コンクール 2011 機関紙



## 「自治労さっぽろ」 札幌市職連



## 「後志地本通信」 後志地方本部



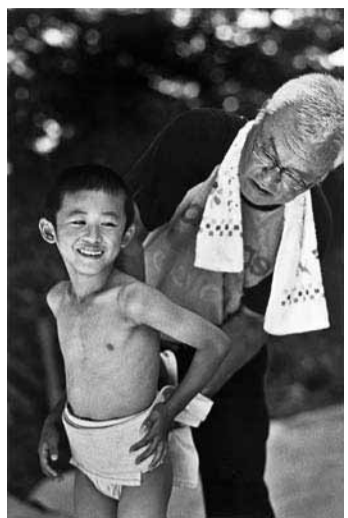
## 「ニュース」 岩見沢市職

### 一般部 最優秀賞(1点)



「スカイツリー&アサヒビール」 全道庁労連日高総支部 津幡 正則さん

■スカイツリーが他の建物と対象物になっていても良い。子どもと世話役の表情がとてもよく出ています。構図の取り方が上手だった。



「子ども相撲」 全道庁労連上川総支部 石岡 康彦さん

■構図、バックの処理などとても良い写真。子どもと世話役の表情がとてもよく出ています。構図の取り方が上手だった。



「旅立ち」 苦小牧市病職 浮津 陽一さん

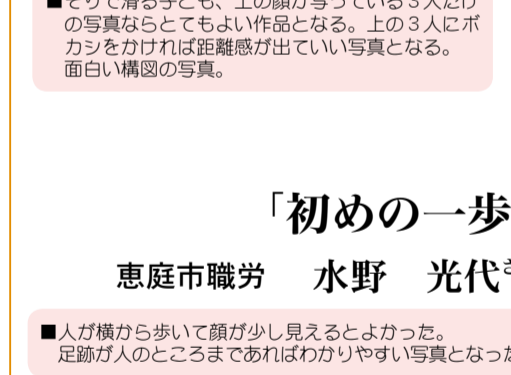
■ポイントが2羽にしっかりとあっていてとても良い。運動のあるいい瞬間を狙った写真。メスとオスが飛び立つ所が、さらにいい写真となった。

### 最優秀賞(1点)

### 佳作(3点)



### 優秀賞(2点)



### 佳作(3点)

野田内閣は中間層を増やさなければ社会を維持できないとしている。税や社会保障の再配分を行わなければならない。財源を作るにはムネをく

9月は高齢者月間であり、全国高齢者福祉集会などに参加してきた。

労福協として節目の年。自治労の支援なくして発展はない。引き続きしっかりと運営する。全労済の経営状況は、大震災で1200億円、13万円

お疲れさまでした 本大会で6人が退任しました。なお伊藤さん、小林さん、上島さんは道本部臨時執行委員として引き続き2012年3月まで任務に就きます。

# 2012道本部大会 事前会議・各評議会報告

## 現業公企評議会

### 現業アクションプランの推進



現業職場の削減・委託、総合業務体制など多様な合理化提案に対し、進んで少数職場を含めた議論の機会を設ける。また、単組・職場との往復運動を強化し、職場を守るおける課題を評議会全体で共有し、住民ニーズに配慮する仕事のあり方について具体的な検討を進める。地公法57条の単純労働規定の解消にむけてスピーディーな情報提供や単組課題の把握を進める。現業公企評議会の結束を強めて、2011現業公企統一闘争を単組と一体となり推進する。

- 〔役員体制〕  
議長 浅野 康敏 (釧路市役所労組)  
事務局長 中野渡 智 (札幌市労)

## 女性部

### 安心して健康に働ける職場をつくる



2012年度も学習・交流活動が組織の要求につながる取り組みを行って興味、関心、気づきを引き出す。基本組織と連携しながら課題材育成を行い、地本・単組の組織の改善に取り組んでいく。さらには強化をはかってくる。また、女性部からの格差を是正し、女性が安心して働く組織を生かし、個人の悩みを健康に働き続けられる職場つくりをすすめていく。

- 〔役員体制〕  
部長 戸村のぞ美 (中標津町労連)  
副部長 白石 喜美 (安平町職)  
副部長 原 美夏 (洞爺湖町労連)  
書記長 選出中  
書記次長 香川真由美 (足寄町職)

## 社会福祉評議会

### 社会福祉の充実と福祉人材確保



子どもから高齢者まで「誰もが安心して生活できる社会福祉制度の実現」と、それらを支える「福祉関係労働者の賃金労働条件の改善と社会的地位向上」をめざし、取り組みをすすめる。

「子ども・子育て新システム」の構築、生活保護制度の見直しと「第2のセーフティネット」の拡充、介護保険制度改正と報酬改定、障害者総合福祉法の創設など制度面での重要課題のほか、福祉人材の確保・定着と非正規職員も含めた処遇改善をめざす。障害労働者連絡会や公共民間を含めた評議会体制の強化など、山積する諸課題に対して評議会一丸となって取り組んでいく。

- 〔役員体制〕  
議長 野城 執 (全道庁労連札幌)  
副議長 塚越 寛 (浜頓別町職)  
事務局長 阿部 直美 (北見市労連)  
事務局長次長 相内 利幸 (札幌市職連)  
萩原 寧昭 (道社協職組)

## 青年部

### 『ゆずれない要求』を独自要求闘争に



青年部は『学習・交流・実践』を運動の柱に、仲間と丁寧に向き合い、『職場から運動をつくる』ことをめざして活動している。職場実態や仲間の思いに依拠した『ゆずれない要求』を確立し、独自要求闘争につなげていく。全部員が参加する運動を追求しながら、臨時・非常勤等職員、消防協の仲間とも交流を深め、組織強化を勝ち取っていく。

- 〔役員体制〕  
青年部長 牧野 長武 (名寄市職)  
副部長 瀧口 和成 (日高町職)  
書記長 加賀 正浩 (全道庁労連日高)

## 衛生医療評議会

### 就労看護職員200万人体制確立



医療崩壊といわれる現状は地域に悪影響をおよぼしている。安心と信頼の医療提供体制の確立は必要。2011年度の取り組みを踏まえ、地域医療体制確立、就労看護職員200万人体制、保健医療政策の改善、

保健医療分野での人材確保。衛生医療職場の臨時非常勤等職員の組織化にむけて積極的に取り組みをすすめる。

- 〔役員体制〕  
議長 小林 一司 (苫小牧病職)  
副議長 佐藤 容子 (札幌病職)  
事務局長 選出中  
事務局長次長 平野 弘輝 (不古内町職)

## 公共サービス民間労組協議会

### 要求書の提出・交渉で処遇改善めざす



自治体財政危機を背景にした委託料等の削減、民主党政権の事業仕分けなどにより、公共サービス民間労働者の雇用・労働条件は一層厳しい状況が強いられている。春闘・秋闘の選定基準改善、非正規職員の処遇改善と組合加入の推進に取り組む。総会開催時の全道学習集会を基本として、各地本での公共サービス民間労組連絡協議会の結成を展望し、地本単位の交流学習会の開催を追求し、多くの組合員が参加できる運動をめざす。

- 〔役員体制〕  
議長 鷲津 克之 (室蘭福祉協会)  
副議長 菊地 悟 (北海道環境エネ)  
書記長 逢見谷百合子 (北海道福祉エネ)  
田尾 悟 (旭川浄化労組)  
鹿内 健太 (共和社協ユニオン)  
事務局長 中村 博行 (亀田清掃労組)

## 北海道消防職員協議会

### 団結権回復にむけ北海道から発進



消防の組織拡大を道本部・地本・単組・消防協が一丸となって活動を進める。安全衛生の確保など山積した課題解決にむけて運動を北海道から全国へ発信する。

道本部・地本・単組とともに、消防協力をあげて取り組み、団結権回復にむけた運動を北海道から全国へ発信する。

- 〔役員体制〕  
会長 鎌田 常孝 (岩別消防協)  
副会長 久保 宇泰 (倶知安消防協)  
事務局長 中畑 隆寛 (稚内消防協)  
事務局長次長 国広 秀樹 (苫小牧消防協)  
菅原 宏山 (釧路東部消防協)  
笹谷 健治 (函館消防協)

## 臨時・非常勤等職員連絡会議

### 法的地位の明確化と処遇改善をめざす



恒常的、基幹的業務に任用されている臨時・非常勤等職員の法的地位の明確化と処遇改善をめざすため、ち、常勤職員との均等待遇の実現を目的に、社会的発言力を高めるための活動の仲間組織化と組織化後の活動を支援し、組織の強化・拡大を、道本部に結集し、地本・単組と連携して取り組む。

- 〔役員体制〕  
議長 高野美枝子 (全道庁労連上川)  
副議長 松本 敦子 (札幌市職連)  
書記長 東 芳子 (札幌市労)  
寒河江厚子 (全道庁労連札幌)  
事務局長 増田 光子 (札幌職)

2011人勸

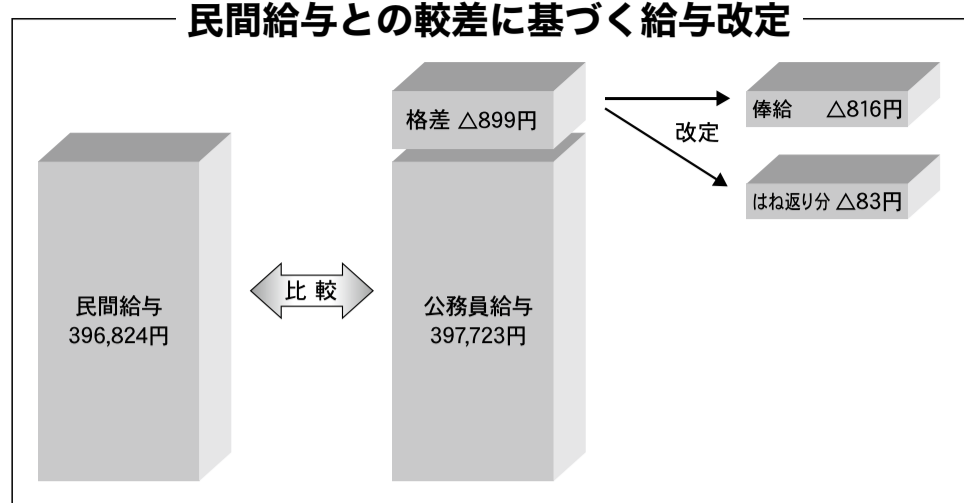
# 3年連続マイナス勧告

月例給 ▲0.23% (▲899円)

一時金改定見送り

人事院は9月30日、内閣と国会に対して国家公務員の月例給与の改定を勧告した。月例給、平均899円・0.23%引き下げ(3年連続)、一時金については、現行3.95月を据え置くとするものであった。また、公務員連合会が強く反対しているにもかかわらず、給与構造改革に伴う現給保障措置を、2012年度から2年間かけて全廃するという不当な勧告を行った。さらに、勧告・報告とあわせて、「定年年齢の段階的引き上げ」について意見の申出を行った。

公務員連合会は、人事院に対して、5月段階の政府と労働組合による国家公務員給与の引き下げ合意を前提として、勧告を行わないように強く求めてきたが、人事院は国家公務員法28条の規定に基づいて、調査結果に基づいて勧告を行った。公務員連合会はこうした人事院の姿勢に対して強く抗議する声明を发出した。勧告内容について分析してみると、月例給については国家公務員の平均年齢や平均給与の引き上げがあり、民間給与が昨年程度の引き上げに止まっていたことから一定の逆転差は避けられないものであった。しかし、一時金については、民間企業が軒並み4.5月以上を今年の春闘で回答を引き出しているにもかかわらず、東北3県を除く



## 2011年人事院勧告

### <2011年人事院勧告のポイント>

- 月例給与の較差 △0.23% (▲899円) (昨年△0.19%、▲757円)
  - 50歳台に重点を置いた俸給表の引き下げ改定
  - 指定職俸給表の引き下げ改定 (△0.5%)、医療職 (一) の俸給表は据置き
  - 較差相当分を12月期の期末手当において制度調整 (調整率は△0.37%)
- 一時金の改定見送り
- 給与構造改革における経過措置額(現給保障措置)の取り扱い
  - 給与構造改革における経過措置額を2012年度から2段階で廃止 (2012年度差額の1/2 (1万円上限)、2013年度全廃)。
  - 給与構造改革期間に抑制してきた若年・中堅層の昇給を回復 (2012年度36歳未満2号俸42歳未満1号俸、2013年度一定年齢未満1号俸)。

### <定年年齢の段階的延長に伴う意見の申出のポイント>

- 俸給月額・諸手当
  - 60歳を超える職員の年間給与について、60歳前の70%とするよう制度設計
  - 俸給月額は60歳前の73%。諸手当は60歳前同様の手当を支給。
  - 特別給は年間支給月数を3.00月。
- 定年前短時間勤務制について
 

60歳以降の職員が希望する場合措置。
- 役職定年制について
 

当分の間、本府省の局長、部長、課長等の管理職が60歳に達した場合に他の官職に異動。
- 再任用制度について
  - 定年の段階的引上げ期間中における定年退職後、満額年金支給まで(平成37年度)存置。
  - 定年延長者との均衡のため、各職務の級の最高号俸の額の73%を超えないように見直し。

た集計結果は、3.987月とし、被災県の雇用情勢や支給実績が低くなること推測し現状維持を勧告した。人事院が民間給与の推測を元に勧告することはまれであり、記憶に新しいのは一昨年の一時金の一部凍結勧告が、今回、一時金を仮に0.05月でも引き上げれば、国家公務員の年収増となり、外からの批判に耐えられないという政治的配慮があったものと考えられる。

道本部は、第52回定期大会当面の闘争方針で提起した方針を一部補強した。現給保障措置の交渉については、実施時期が2012年4月以降ということを踏まえ、大きな不利益変更につながる勧告であるため、十分な交渉・協議を求めた対応を取ることとした。また、11月期で「廃止しない」対応を取っていく。

## 交渉・協議で守ろう「現給保障」

## 2011賃金確定闘争の重点課題を意思統一



講演する松本室長と参加者=10月13日

10月13日、2012年度道本部賃金担当者会議を札幌サンプロサで開き、全道から130人の道本・単組役員が集った。会議では、自治労本部・公務員制度改革対策室長の松本敏之さんが、公務員制度改革の進捗状況と地方公務員制度改革の方向性について提起した。松本室長は、「関連四法案成立は、今の政治情勢の中では見通すことが非常に難しい」としたものの、「人勸制度によらない自律的労使関係制度における労使交渉においては、労働組合の交渉力の質が問われる」と述べ、年末以降、モデル団体協約の提示など、具体的な準備を急いでいることを明らかにした。その後、道本部・櫛部賃金労働部長が2011年人事院勧告の概要解説と重点課題の提起を行った。その中で特に、「給与構造改革の現給保障制度の廃止については、措置された経過などを確認し、今年の重点課題と位置づけて、制度継続にむけ安易な妥協はせずに、賃金定期の交渉を進めよう」と強調した。

## 「交渉力の質」問われる

### <闘争スケジュール>

全単組オルグ(道本部地本合同)	10月14日～	腕章着用	11月15日～闘争終結まで
要求書提出日	10月27日(回答指定日11月04日)	超勤拒否	11月17日～18日
重点交渉期間	11月07日～	出張・諸会議拒否	11月18日スト同日にかかるもの
組合旗掲揚	10月27日～闘争終結まで	道本部統一行動	11月18日1時間ストライキ

## ホームページ「自治労北海道」でチェック!

### 「人勸情報」や「確定闘争」のニュースや資料

自治労北海道

検索

[単組・組合員専用]ページでみる事ができます。

- ユーザー名:hokkaido
- パスワード:jichi2009

9月30日の記事  
[2011人事院勧告]で  
ぜひ、詳細をチェックしてください



「さようなら原発」青年総決起集会

もし泊原発ならどうする

「原発がもたらしたものは何か、道本部青年部は、旭川市、札幌市、帯広市、乙部町の4カ所...」



札幌集会后札幌駅前街頭署名行動をした=10月9日

「原発がもたらしたものは何か、道本部青年部は、旭川市、札幌市、帯広市、乙部町の4カ所...」



「原発がもたらしたものは何か、道本部青年部は、旭川市、札幌市、帯広市、乙部町の4カ所...」



65人が集まった旭川集会



56人が集まった帯広集会

「原発がもたらしたものは何か、道本部青年部は、旭川市、札幌市、帯広市、乙部町の4カ所...」

「原発がもたらしたものは何か、道本部青年部は、旭川市、札幌市、帯広市、乙部町の4カ所...」

えさき参議のがんばるぽい〜後編〜

働く環境整備、基礎自治体の確立

9月26日から2日間、自治労組織内のえさきたし参議院議員が後志管内の20単組に入った。



えさきたし参議院議員が後志管内の20単組に入った。

えさき参議院議員は各職場で、3月11日の震災以降、基礎自治体の重要性が明らかになった。



二セコ町長と懇談するえさき参議

えさきさんの国会だより ⑥



9月に後志におじゃましました。樋口さんをはじめ皆さんに大変お世話になりました。後志の自然は良いですね。

な中、北海道の増毛町、天塩町、羽幌町の町長がお見えになり話を聞かせてもらいました。一昨年になりましたが、増毛町の石崎町長は候補者として町をおじゃました際に私に「せひ冬の北海道に来てくださ」とおっしゃったことを覚えています。

この人に会ってみたい ①

自治労復興支援「悲しい風景」を書いた活動報告 中標津町労連委員長 山口 修さん



活動報告「悲しい風景」を持つ山口さん

自治労復興支援活動報告「悲しい風景」を、戸村女性部長に送ってもらったことがきっかけで道本部大会の日、筆者・中標津町労連・山口修さんにお会いすることができました。



震災後、復興は厳しい道のりだと感じました。今年は、日本各地で豪雨災害があり、今思うことは、自然災害ならどんなに苦しくても立ち上が

故は人間の手に負えないということ。自治労の反核、原発運動は間違っていないと。今後は「プルサーマル」を稼働させるわけにはいき

「悲しい風景」は100部作り、単組の執行部と報告集会に参加してくれた組合員、第6グループの皆さんと、地本などに配布しました。読んで「わかりやすかった」とか「現地の状況が少し理解できた」といった感想



第6グループの仲間。2列目右が山口さん



蘭越町役場であいさつをするえさき参議=9月27日

話余中忙

福島第一原発の事故から7カ月が過ぎた。私たちは想像もできない。浪江町から財布と携帯電話だけを保持して避難して来た職員の姿、受け入れられた側。自治体を守ると言うこととはどういうことなのか。自分だったらどうしたいのか。人間らしい生活のためには、『脱原発』の運動をしっかりとやら、安心・安全の日本にしなければ、ふつうに生きることをできないのだ。友達、親戚、みんなを声をかけて署名活動を取り組み、なんとしても「原発」にさようならしたい。(谷川広美)

Advertisement for 'Koron' (カーローン) with interest rates of 1.90% and 2.60%.



さらなる組織強化のため道本部一丸となって頑張ります!



# 2012年度道本部執行体制

## 4役(企画会議)

執行委員長  
自治労共済道支部長



山上 潔 (全道庁労連)

副執行委員長  
自治労共済道支部事務局長



三浦 正一 (斜里町労連)

副執行委員長  
総合政策局長



杉谷 光一 (留萌市労連)

書記長  
企画総務局長



大出 彰良 (名寄市職労)

副執行委員長  
組織労働局長



藤盛 敏弘 (函館市職労)

財政局長



浦池 仁 (全道庁労連)

## 組織労働局

賃金労働部長



榑部 浩二 (全道庁労連)

賃金労働部次長(書記)



小杉由美子

組織部長  
(現業公企評担当)



中野渡 智 (札幌市労)

組織部次長(書記)  
(現業公企評)



玉井 秀樹

組織部長  
選出中

臨時執行委員



伊藤美恵子 (深川市職労)

厚生対策部長  
黒坂 秀勝

## 企画総務局

企画総務部長



山木 紀彦 (遠軽町労連)

臨時執行委員



上島 早苗 (占冠村職)

教育情宣部長



谷川 広美 (直属支部)

研究員



木村美智留 (全道庁労連)

女性部長



戸村のぞ美 (中標津町労連)

企画総務部次長(書記)  
(青年部・教育情宣部)



萩原 直

青年部長



牧野 長武 (名寄市職労)

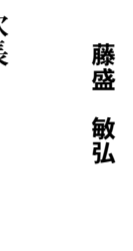
企画総務部次長(書記)  
(連合北海道派遣)



佐々木直人

## 〈組織拡大推進室〉

室長



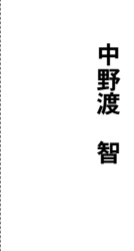
藤盛 敏弘

事務局長  
(組織拡大専門員)



松岡 敏裕 (石狩市職労)

次長



中野渡 智

## 〈退職者会〉

事務局次長



藤田 惣一

事務局  
(組織拡大オクルグ本部書記)



吉田 雅人

## 総合政策局

政治部長



中村 誠吾 (小樽市職労)

公共サービス政策部長  
選出中



小林 一司 (苫小牧病職)

自治体政策部長  
(社会福祉評事務局長)



相内 利幸 (札幌市職連)

政治部次長(書記)  
(道民運動担当)



岡本 宜久

## 〈総合〉 研究室

室長



杉谷 光一

事務局長



酒井 康弘 (全道庁労連)

研究員(書記)



近藤 哲也

研究員(嘱託職員)



舟橋 圭子

## 自治労共済 北海道支部

事務局長次長



黒坂 秀勝 (全道庁労連)

事務局長(管理部長)  
(事業部長)



山道摩奈美

管理部長(書記)



鈴木 知幸

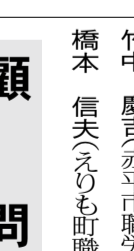
事業部副部長(書記)



前田イク子

## 監査委員

自治体政策部次長(書記)  
(衛生医療・社会福祉評事務局長)



高田 将平

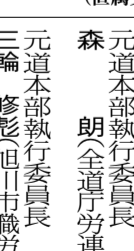
## 顧問

元衆議院議員  
中澤 健次(夕張市職労)



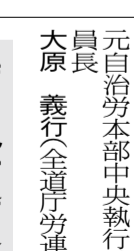
中野渡 智

元衆議院議員  
金田 誠一(函館市職労)



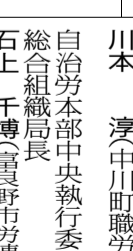
金田 誠一

元参議院議員  
峰崎 直樹(全道庁労連)



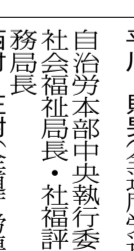
北村 英人

元道本部執行委員長  
北村 英人(全道庁労連)



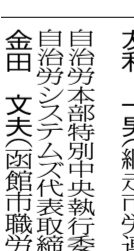
毛利 孝人 (直属支部)

元道本部執行委員長  
森 朗(全道庁労連)



大出 彰良

元道本部執行委員長  
三輪 修彰(旭川市職労)



大出 彰良

自治労本部特別中央執行委員  
(生活経済政策研究所専務理事・事務局長)

大門 正彦(全道庁労連)

自治労本部特別中央執行委員  
自治労会館理事長

大原 義行(全道庁労連)

連合北海道事務局長  
出村 良平(全道庁労連)

連合北海道執行委員  
永田 重人(全道庁労連)

連合北海道派遣  
小檜山 秀昭(直属支部)

北海道平和運動フォーラム代表  
山田 剛(全道庁労連)

北海道労働金庫理事  
高柳 薫(遠軽町労連)

北海道労働金庫常務理事  
大場 博之(札幌市職連)

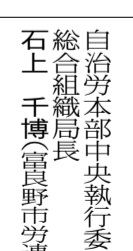
全労連北海道本部本部長  
三浦 正道(札幌市職連)

北海道労働福祉協議会理事  
佐藤 富夫(全道庁労連)

北海道労働委員会委員  
渡部 正一郎(函館市職労)

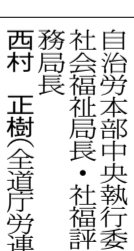
## 特別執行委員

自治労本部書記次長  
川本 淳(中川町職労)



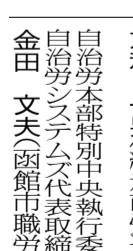
川本 淳

自治労本部中央執行委員  
総合組織局長  
石上 千博(富良野市労連)



石上 千博

自治労本部中央執行委員  
社会保障局長  
平川 則男(全道庁労連)



平川 則男